

2022年度 教育施設(結果)

PLAN(計画)	DO(実施)	CHECK(評価)	ACITON(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。	A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
①安全対策として、ふじみ野キャンパス東館アトリウムの天井落下工事の実施する。	①本郷キャンパスB館6階屋上設置ヤード防音パネル更新工事、ふじみ野キャンパス東館アトリウム天井落下防止対策工事を実施した。	①中長期的に策定されたキャンパス整備基本デザインの計画の枠組みで進められ、安全対策は計画通りに実施された。	①「改訂キャンパス整備基本デザイン」に基づき、令和5年度に向けて、全体骨子は変えずに目標達成に向けて順次整備を進める。
②教育向上のため、本郷キャンパスS館およびD館スカイホール、ふじみ野キャンパス中央館教室等の視聴覚更新工事を実施する。	②本郷キャンパスS館4教室・D館スカイホール及び、ふじみ野キャンパス中央館4教室・東館1教室の視聴覚更新工事を実施した。	②教育環境における視聴覚更新工事により教育の向上が図られた。	②今年度に引き続き、キャンパス間の格差の無い教育環境整備の実現を進めていく。
③本郷キャンパスC館・B館研究室および記念館、ふじみ野キャンパス中央館教室等のLED化工事を、ふじみ野キャンパス東館(図書館系統)・学生会館・西館(入浴実習室、流水プール室)で空調設備の更新工事を実施して省エネルギー化を図る。	③省エネルギー化推進として、本郷キャンパスB館・D館研究室、東本館実習室・教室、研究室、管理棟廊下、ふじみ野キャンパス東館アトリウムステージ上階段上スポットライト、体育館武道場および駐輪場等外構ほかのLED化への改修工事を実施した。また、ふじみ野キャンパス東館図書館系統、西館入浴実習室・流水プールおよび学生会館系統ほかの空調機更新工事を行った。	③予定されていたLED化工事はかなりの割合で実施され、エコキャンパス化による教育環境の整備は、ほぼ計画通りにおこなわれた。	③今年度に引き続き、エネルギー効率の良いキャンパス環境の整備の実現のため、優先的に教室証明のLED化・空調設備工事を計画する。
④ICTインフラの継続的整備、両キャンパス情報教育設備の統合を進める。また、キャンパスあるいは在宅学習を含め、時や場所を問わず学生に適切な教育サービスを提供できる環境をさらに整備していく。	④対面授業再開による、キャンパスLAN・インターネット需要の復活、学内からのオンライン授業・ハイフレックス授業配信のためのインターネット帯域、学生待機場所におけるWiFi環境、および電源環境の整備、ハイフレックス授業形態導入に伴う機器整備を実施した。	④授業形態が変化する中で、多様な授業形態を支援するためのキャンパスLANやWiFi環境、機器整備等は計画通りに進められた。情報教室のコンピュータのリプレイスについては予算の関係で次年度に順延になった。	④対面授業への回帰に向けて、ICTインフラの継続的整備・運用を進める。また、両キャンパスの情報教育設備の統合・共通化をより一層進める。
⑤機関リポジトリの構築を通して、本学の研究成果物をアーカイブ保存・公開できる環境の整備がなされた。また、教育のDX化に対応した電子図書館化への対応等の整備をしていく。	⑤機関リポジトリが構築され、研究成果物のアーカイブ保存の環境が整備された。	⑤アーカイブ保存・公開環境の整備が完了した。	⑤研究成果物をアーカイブ化・保存し、広く社会に発信する文化の定着を通して、次年度は運用に向けて作業を進める。
⑥研究促進のための環境整備として、科研費申請支援システムの導入のための準備を開始する。	⑥科学研究費支援システムの導入は完了した。	⑥申請支援システムが構築されたことで、科研費採択者の管理業務が円滑に行われることになった。	⑥導入された申請支援システムの運用に向けて、支援業務を整備していく。

2023年度 教育施設

PLAN(計画)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。
①安全対策として、本郷キャンパス仁愛ホール天井落下工事および、B館外壁調査、ふじみ野キャンパス西館2号館の階段裏剥落落下防止対策工事を実施する。
②教育向上のため、本郷キャンパスS館5教室およびB館ウィングホール、仁愛ホール、ふじみ野キャンパス中央館3教室、西館4教室等の視聴覚更新工事を実施する。
③本郷キャンパス仁愛ホール客席照明、舞台照明のLED化工事を、さらに研究環境向上のために本郷キャンパス共同研究室棟研究室および実験室で実施する。また、本郷キャンパス仁愛ホール、B館ロスタイ室内機ファンモーター更新工事を実施して省エネルギー化を図る。
④情報教育設備更新を両キャンパスの合同事業として実施し、統合されたシステムとして適切な環境構築、情報教室のコンピュータのリプレイスを実施する。また、コロナによって得た新たなICT活用の意識に根ざした活用環境であるBYODに適合した取り組みなど、新しい環境に適合する様に継続的に対応する。
⑤機関リポジトリのサービスを導入し、本学によりよく合致する運用方法の検討を実施する。検討の過程にて、オープンアクセスによる研究成果の公開の重要性について等の学内啓蒙を実施する。また、公式Webサイトのリニューアルに合わせ、データベース等が利用しやすいよう利便性向上に務める。
⑥専門職大学院の設置申請のために、大学院研究室、教員共同研究室用の備品および電源・LAN配線工事を実施する。
⑦科研費システムの支援業務の新年度からの運用開始と調整を実施する。